

内科学講座

I. プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

| | |
|-----------|---|
| 教授 徳山博文 | 慢性腎臓病の進展予防、高血圧と臓器障害 |
| 准教授 仁科牧子 | 歯科大学病院における禁煙指導の取り組みについて |
| 准教授 瀬田範行 | 関節リウマチの病態における末梢血単球の役割の解明 |
| 准教授 大久保佳昭 | 1型糖尿病の成因と治療 |
| 講師 坂巻裕介 | 腎・移植腎生検組織を用いた慢性腎臓病患者の臨床病理学的評価についての検討 |
| 助教 松本公宏 | 白血病の成因と治療 |
| 助教 渡邊周之 | Werner 症候群におけるグルカゴン分泌に対する DPP-IV 阻害薬の効果 |
| 助教 井上博之 | 高血圧発症と持続・退行におけるエピゲノム制御 |
| 助教 茂木源治 | 百寿者における生活環境因子の解析 |
| 助教 土屋多美 | 膵癌患者における膵ランゲルハンス島の形態学的解析 |

2. 成果の概要

坂巻裕介：ニコチンアミドモノヌクレオチド(NMN)は様々な疾患の抑制効果が示されている。今回アドリアマイシン誘発性巣状糸球体硬化症モデルマウスに2週間 NMN を投与し巣状糸球体硬化症に対する効果を検討した。NMN 投与群では、尿中アルブミン排泄の減少を認め、糸球体硬化を抑制していた。その機序としては、Sirt1 の発現上昇と NAD 消費酵素の暴走連関を抑制することが示唆された。(Scientific Reports. 2022;12(1):13712)

学外共同研究

| 担当者 | 研究課題 | 研究施設 | 所在地 | 責任者 |
|------|---|-----------|--------|------|
| 徳山博文 | 肥満関連腎症の病態に重要な役割を Rho/Rho キナーゼ経路を抑制するスタチン製剤を用いた肥満関連腎症に対する効果の検討 | 慶應義塾大学医学部 | 東京都新宿区 | 伊藤 裕 |
| 坂巻裕介 | Whole slide image を用いた移植腎生検組織における線維化定量の検討 | 慶應義塾大学医学部 | 東京都新宿区 | 伊藤 裕 |
| 坂巻裕介 | 糖尿病患者における腎障害の組織診断の意義と新規診断マーカーの確立 | 慶應義塾大学医学部 | 東京都新宿区 | 伊藤 裕 |